

ご案内

光円寺 パソコン教室 参加費 五百円(パソコン持込)

一月十八日(火) 午前十時〜第三火曜日(修理、相談もOK)

光円寺 女性会 正信偈の書写

一月十九日(水) 午前十時〜 各月・第三水曜日

正信偈の書写とお話・座談 初めてのの方も書写本有ります。

光円寺 第二十二回 選択本願念仏集を読む会

一月二十六日(水) 午後七時半〜 講師：玉光真人さん

第三章の「本願章」の復習をしています。

光円寺 同朋会 「仏説阿弥陀經に学ぶ」

一月二十八日(金) 午後二時〜四時

お経「仏説阿弥陀經」お話・座談 お経の練習もしています。

光円寺・世話人会 & 新年会

一月二十九日(土) 午後五時〜 新年度の計画他

阪神淡路大震災十七回忌法要 山陽教区主催 参加費無料

二月十日(木) 午後一時〜四時 神戸市教育会館

「震災で親を亡くした子どもによりそって」八木俊介さん

ナムナム大集会4 2月9日(水) 京都大谷婦人会館 参加千円

「親鸞一人になることのできる宗教」

釈尊は遺言として、「自灯明(自らを灯とせよ)・法灯明(真実の教えを灯とせよ)」の教えを遺されている。自灯明とは、自分で考える人間になれる、ということであり、法灯明とは、そのためには学べということである。自分で考えることと、自分で考えているつもりとは違う。メディア論とは宗教論でもあるといわれる今日、情報があふれる現代社会で、この違いの確証は大切なことである。一二時半 御影堂でお勤め後会場へ移動 一三時半開会

基調講演 森達也さん 一四時半〜発言①西村秀樹さん

②平川宗信さん 一五時半 シンポジウム 一七時終了

*市川町発の貸し切りバスが出ます。参加希望者募集中です!

編集後記

年末の除夜の鐘は寒かったからか、子ども連れ、家族で一緒にという人が少なく、「単独の男性諸氏」が多く、例年とちがうかんじの賑わいでした。でもって「修正会」の後の一杯飲むのが弾み、境内の火の前でも二次会になり、火に当たりながらゆっくりと飲んで年越し朝方まで。今年はいよいよ宗祖親鸞さんの五十年に一度の、御遠忌という一大節目の年です。この年に生きて出遇うということは、真宗門徒・仏教徒としてどのようなことが、一人ひとりに託されているのか? そんなことを今年一年を掛けて訪ねて行こうと思っています。そして今「聞名」と「称名」が気になってます。七五〇年の歴史を超えて伝わって来た「南無阿弥陀仏」です。それは、念仏に生きた人の歴史なんでしょうが、同時に念仏にこだわった人の歴史でもあるのでしょうか! この御遠忌を縁に『執持名号』||『南無阿弥陀仏』にこだわりながら生きるはじまりに...と思っています。具体的にはあつちや・こつちで「なんまんだぶつ」を声に出して言うちゅうことかな!と。皆さんも一緒に「なんまんだぶつ」を!

(明)

光円寺報を読んでくださっている皆様、今年もよろしくお願ひします。最初と最後は読むでくって言うてもらったり、すみからすみまで読んでますって言うてもらったり。どちらもうれしく、またどちらも課題を頂く言葉です。今年には仏歴2554年(西暦プラス543年)、お釈迦さまが亡くなられてそれだけの年月を経て伝わって来ている教に触れ、又それを生きたる方々に出会い、拙いながらも伝えなければと思い続けています。小さな字を読むというご苦労にも感謝です。ある日のひとり言。ある時は感謝して、ある時はのひらをかえすように腹を立てる。私ってだめな修行が足りない。そこへ聞こえてくるのは、人間はそういうもんだという声。もっとうなりたいという心は、いつも自他を責め立てる。修行の及ばぬ凡夫であることを知りなさい。凡夫を助ける約束がなんまんだぶつなんだよ。

少しづつ連夜のお参りさせていただいています。緊張と失敗の連続で、申し訳ない、有り難い、恥ずかしい、情けない、うれしい...と色々な気持ちがあぐるぐる回ってます。

お内仏がないお宅へも行かせてもらいます。御相談下さい。(惟)